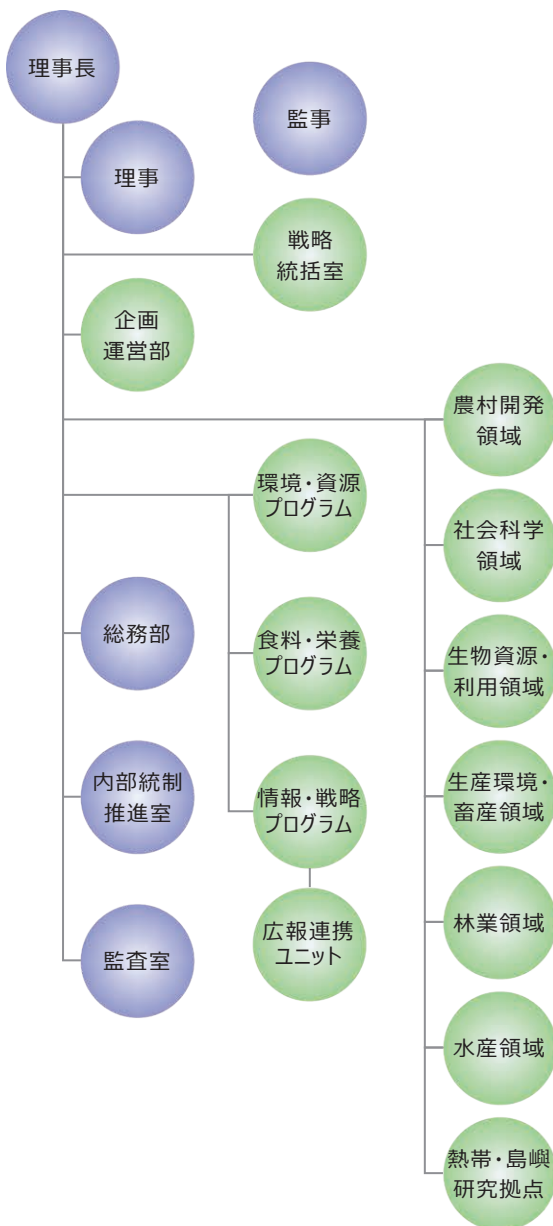


組織と業務推進体制



管理・運営
組織

業務推進
組織

第6期中長期計画
(令和8～14年度)

本所(つくば市)



熱帯又は亜熱帯に属する地域その他開発途上地域における農林水産業の研究を包括的に行う我が国唯一の研究機関として、開発途上地域の農林水産研究機関、国際農業研究機関等と連携・協力し、開発途上地域の農林水産技術の向上に貢献しています。

熱帯・島嶼研究拠点(石垣市)



亜熱帯・島嶼という気候条件、地理的条件を活かし、開発途上地域や熱帯・亜熱帯に適用できる農業生産技術の研究を行っています。国内唯一の亜熱帯下での国立研究開発法人の農業研究拠点として、大きな使命を担っています。

東南アジア連絡拠点(バンコク)



東南アジアにおける国際農研の活動拠点として、農林水産業研究に関する動向や、現地情報の収集・提供及び国際農研のプロジェクト活動等を支援しています。

予算	<令和8年度> (百万円)	役職員数	<令和8年4月1日> (人)
運営費交付金	3,950	役員	4
施設整備費補助金	191	一般職員	50
受託収入	399	技術専門職員	2
寄附金収入	0	研究職員	127
諸収入	1	特定任期付職員	2
計	4,540	計	185

本所

〒305-8686
茨城県つくば市大わし1-1

☎ 029-838-6313
✉ info-pr@jircas.go.jp
🌐 <https://www.jircas.go.jp/>

熱帯・島嶼研究拠点

〒907-0002
沖縄県石垣市
字真栄里川良原1091-1
☎ 0980-82-2306

地球と食料の未来のために



JIRCAS
国際農研

国立研究開発法人
国際農林水産業研究センター

地球規模課題の解決に向けた革新的研究成果の創出と活用

食料安全保障の確立と持続可能な農林水産業の発展に貢献するため、
気候変動への対応や環境負荷軽減、循環型資源利用、食料安定供給に資する研究開発を推進します。
国内外の研究機関等との連携を通じて研究基盤を強化し、革新的な研究成果の創出と、
その普及・活用に取り組みます。



国際的な農林水産業研究の 中核として情報機能を強化

国際的な農林水産業研究の中核として、
国際的な動向に関する情報の収集・分析と、
課題解決のための戦略立案機能を強化します。

食料・農業を取り巻く環境や社会経済の動向、
新たな農業技術やその活用の可能性を的確に捉え、
分析から得た知見を国内外に広く発信します。

情報・戦略プログラム

- 食料システム変革に資する国際的情報収集・分析・提供
- 戦略的な連携及び前線技術の利活用に基づく熱帯作物遺伝資源研究のハブ機能強化
- 環境調和型作物生産技術の連携展開
- グローバル地域への農業技術の展開(グリーンアジア+)

環境・資源プログラム

- 生物的硝化抑制(BNI)技術を活用した持続的農業生産システムの構築
- 気候変動に対応したグリーンイノベーションのための低炭素農業技術の創造
- 農業GXを加速する次世代バイオマスアップサイクル技術の国際展開
- 熱帯林における気候変動適応型林業技術の開発
- 熱帯島嶼の強靱化に向けた環境調和型農業と自然資源保全の技術開発
- 水資源の不安定化と土壌の塩類化に対処する強靱な水・土地管理技術の開発

食料・栄養プログラム

- 過酷環境下におけるレジリエンス強化農業技術の開発に資する研究基盤の構築
- 小規模農家の気候変動適応および栄養改善を実現する農業システム転換
- 生態・分子基盤に基づく越境性病害虫の持続的防除技術の開発
- 熱帯域の水産業における生産性・持続性向上に向けた技術開発
- アフリカ・サバンナ畑作地域における食料安定生産に向けた農業生態系サービス向上
- アフリカの水田農業と森林機能を両立する気候変動下での持続的な食料生産システムの構築